

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
110011001	潜在能力の開発 Development of potential ability	理事長／学園長・理事長補佐・教務委員長・学生委員長・就職指導委員長・学部長			1	必修	1前期

科目の概要

本科目ではDP1「建学の精神」とDP4「社会的に自律して生きていく上で必要な四大精神・社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体」、すなわち愛知学泉大学の「自学・共学システム『学びの泉』」についての理解が目指されている。それは各人が4年間で「自ら学び、共に学ぶ」姿勢を身につける基盤を作り上げていくことと繋がる。

学修内容	到達目標
① 家政学部教育目標を理解する。 ② 「自学・共学システム『学びの泉』」を理解する。 ③ 4年間の学生生活の目標・目的を明確にする。 ④ 寺部だい自伝「おもいでぐさ」から四大精神を理解する。	① 大学4年間で学修目標を明確に理解することができる。 ② 「自学・共学システム『学びの泉』」を理解し、自己の潜在能力を開発することができる。 ③ 目標・目的達成に必要な課題を発見し、解決する方法を明確にすることができる。 ④ 大学生活の中で四大精神を実践することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	目標・目的を達成するために、自らやるべきことは何かを能動的に考えることができ、その考えを行動に結びつけることができる。
	働きかけ力	
	実行力	目標・目的を達成するために、自ら決めたことは確実に成し遂げようと行動し続けることができる。
考え抜く力	課題発見力	目標・目的を達成するために必要な知識・技能を獲得・活用して課題を発見ができる。
	計画力	
	創造力	目標・目的を達成に必要な知識と技能を活用して、課題解決策を複数提案することができる。
チームで働く力	発信力	目標・目的を達成するために、自分の意見・考え・提案を分かりやすく整理して、相手に伝えることができる。
	傾聴力	目標・目的を達成するために、対話する相手にとって話しやすい環境をつくることができ、相手の話の内容をさらに明確にする質問ができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	目標・目的を達成するために、チーム内のルールや慣習を守りながら活動を進めることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：
・寺部だい「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」安城学園、1962(1999改訂)
・学びの泉開発委員会編「自学・共学システム『学びの泉』 智性・徳性・身体・感性・行動の5つをバランス良く鍛える（学泉ノート2025）」
・Campus Life 2025（学生便覧）
参考：
・愛知学泉大学建学の精神 <https://www.gakusen.ac.jp/u/univ/idea.html>
・愛知学泉大学 教育スタイル <https://www.gakusen.ac.jp/u/univ/kisoriyoku.html>

他科目との関連、資格との関連

本科目は家政学部教育目標を達成するため、また、本学独自の「自学・共学システム『学びの泉』」を理解するために3学科共通の初年次科目として配置されている。

学修上の助言	受講生とのルール
・将来の自分を描けるよう、4年間の学生生活の目標・目的を持つことが重要である。授業には自ら望んで受講しているという意識を持ち取り組んでほしい。 ・授業資料と課題の授受は基本的にgoogle classroomを通じて行う。	自己成長することを目的に受講しているという能動的な意識を持って受講すること。 授業内で決められたルールは、必ず守ること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	90	①	✓			提出されたワークシートや課題に対して、本授業の到達目標の項目で評価をおこなう。
				②	✓			①大学4年間での学修目標を明確に理解することができる。【獲得…33.3%】
				③	✓			②「自学・共学システム『学びの泉』」を理解し、自己の潜在能力を開発することができる。【活用33.3%】
				④	✓			③自身の目標達成に必要な課題を発見し、解決する方法を明確にすることができる。【解決16.6%】
								④「寺部だい自伝『おもいでぐさ』を熟読することにより、大学生活の中で四大精神を実践することができる。【解決16.6%】
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
				②				
				③				
				④				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			以下の能力評価方法は、前項の学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例より評価する。 ＜主体性＞目標・目的を達成するために、自らやるべきことは何かを能動的に考えることができ、その考えを行動に結びつけることができる。	
			②	✓			＜実行力＞目標・目的を達成するために、自ら決めたことは確実に成し遂げようと行動し続けることができる。	
			③	✓			＜課題発見力＞目標・目的を達成するために必要な知識・技能を獲得・活用して課題を発見ができる。	
			④	✓			＜創造力＞目標・目的を達成に必要な知識と技能を活用して、課題解決策を複数提案することができる。	
							＜発信力＞目標・目的を達成するために、自分の意見・考え・提案を分かりやすく整理して、相手に伝えることができる。	
							＜傾聴力＞目標・目的を達成するために、対話する相手にとって話しやすい環境をつくることができ、相手の話の内容をさらに明確にする質問ができる。	
総合評価割合		100					＜規律性＞目標・目的を達成するために、チーム内のルールや慣習を守りながら活動を進めることができる。 以上の能力要素は、ワークシートや課題と授業内での行動より評価する。	

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
学修の到達目標を対象に評価する。 ①大学4年間での学修目標を明確に理解することができる。 ②「自学・共学システム『学びの泉』」を理解し、自己の潜在能力を開発することができる。 ③自己ビジョン達成に必要な課題を発見し、解決する方法を明確にすることができる。 ④「寺部だい自伝『おもいでぐさ』を熟読することにより、大学生活の中で四大精神を実践することができる。 ⑤「私のおもいでぐさ」を作成することで自己成長の「種」に気づき、豊かな人間性を育むことができる。 ・①から⑤全ての項目が達成できている。…S ・①から⑤のうち4項目が達成できている。…A	学修の到達目標を対象に評価する。 ①大学4年間での学修目標を明確に理解することができる。 ②「自学・共学システム『学びの泉』」を理解し、自己の潜在能力を開発することができる。 ③自己ビジョン達成に必要な課題を発見し、解決する方法を明確にすることができる。 ④「寺部だい自伝『おもいでぐさ』を熟読することにより、大学生活の中で四大精神を実践することができる。 ⑤「私のおもいでぐさ」を作成することで自己成長の「種」に気づき、豊かな人間性を育むことができる。 ・①から⑤のうち3項目が達成できている。…B C評価は授業計画「到達レベルC(可)の標準」に従う。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	大学での学び 担当： 学部長 ・科目の概要説明 ・学びとは何か ・大学で学ぶということ	レクチャー、グループワーク	科目の目的と目標が理解できる。	(予習) ・シラバスを読んでおく。 (復習) ・提示された課題を完成させ提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	学泉大学で学ぶ① 担当：学園長・理事長 ・愛知学泉大学の教育方針について ・智性…pisa型学力とは	レクチャー	・「自学・共学システム『学びの泉』」を理解することができる。	(予習) ・シラバスを確認しておく。 ・CampusLifeの学則を読んでおく。 ・本学のHPで、教育方針を確認しておく。 (復習) ・教育方針と「自学・共学システム『学びの泉』」の活用法を整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	学泉大学で学ぶ② 担当：教務委員長 ・行動…社会人基礎力の実践とは 「学泉ノート(学修活動編)」を用いて自己の学修行動レベルを把握	レクチャー、演習(セルフチェック)	「学泉ノート(学修活動編)」を用いて自己の学修行動のセルフチェックができる。	(予習) ・「学泉ノート(学修活動編)」を読んでおく。 (復習) ・学修行動のセルフチェック結果を確認して今後の行動計画を立てる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	学泉大学で学ぶ③ 担当：学生委員長 「学泉ノート(学生生活編)」を用いて自己の学生生活の行動レベルを把握	レクチャー、演習(セルフチェック)	「学泉ノート(学生生活編)」を用いて自己の学生生活のセルフチェックができる。	(予習) ・「学泉ノート(学生生活編)」を読んでおく。 (復習) ・学生生活のセルフチェック結果を確認して今後の行動計画を立てる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	学泉大学で学ぶ④ 担当：就職委員長・就職課 「学泉ノート(就職活動編)」を用いて自己の就職活動の行動レベルを把握	レクチャー、演習(セルフチェック)	「学泉ノート(就職活動編)」を用いて自己の就職活動への意識のセルフチェックができる。	(予習) ・「学泉ノート(就職活動編)」を読んでおく。 (復習) ・就職活動への意識のセルフチェック結果を確認して今後の行動計画を立てる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	学泉大学で学ぶ⑤ 担当：理事長補佐 ・本学創立の教育信条について ・徳性…四大精神の実践とは	レクチャー	・創立者の教育信条を理解することができる。	(予習) ・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」を読んでおく。 (復習) ・創立者寺部だいの教育信条について整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	学びを社会につなぐ① 担当：ニマイニタイ代表 廣中桃子 カディプロジェクトの取り組みを知る。	レクチャー、質疑応答	カディプロジェクトの取り組みを理解できる。	(予習) ・カディプロジェクトの活動について調べておく。 (復習) ・カディプロジェクトでの廣中氏の活動を寺部だいと比較し、整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	・コンクルージョン 学びを社会につなぐ② 担当：学部長 科目のまとめ	レクチャー、グループワーク、プレゼンテーション	・学びと自己成長の関係をイメージすることができる。	(予習) ・科目全体の学修内容を再確認しておく。 (復習) ・提示された課題を完成させ提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力